

平成22年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493400095	事業の開始年月日	平成19年4月1日	
		指定年月日	平成19年4月1日	
法人名	株式会社 ウイズネット			
事業所名	グループホームみんなの家横浜宮沢2			
所在地	(246-0038) 神奈川県横浜市瀬谷区宮沢 4-5-12			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2	ユニット
自己評価作成日	平成22年10月8日	評価結果 市町村受理日	平成23年2月7日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1493400095&SCD=320
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、平成19年4月1日に開所して、ご家族様、地域の皆様に支えられて、3年が経過致しました。これからは、『家庭のような温もりと、入居者、家族、スタッフとが一つの輪になり、心のつながりを大切にいたします。』の理念のもとに『家庭のような温もり』『その人らしさを大切に』『地域との共生』、をモットーにご利用者様が安心して日々穏やかな生活が送れるよう支援して行きたいと思っております。ホーム見学は、いつでも可能となっておりますので、お気軽にお立ち寄り頂きますようスタッフ一同お待ちしております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞﾞ ｽﾌﾞﾌﾞ 3階		
訪問調査日	平成22年11月17日	評価機関 評価決定日	平成23年1月3日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

当ホームの法人主体は埼玉県に本部を置く株式会社ウイズネットで、介護・福祉関連の事業を多角的に運営しています。相鉄線の三ツ境駅よりバスで約15分、宮沢バス停から徒歩7分程の広大な宮沢遊水地公園の目の前に建ち、周辺は自然環境に恵まれています。地域の中で良好な関係が築かれており、公園広場で野球やゲートボール等、スポーツを行なう方や野鳥観察や散策に訪れる人々にホームのトイレを開放しています。地域との交流もさかに行なわれ、お祭りや運動会に参加したり、近隣の幼稚園児が訪れての交流会も開かれています。また法人本部が発行する福祉情報誌を地域の関係各所に配布し、情報発信しながらホームの存在を紹介しています。

福祉に情熱を注ぐホーム長はじめ職員は入居者の希望や意向を常に大切に考え、ホーム全体を「一緒に生活している大家族」と捉えています。食事や飲酒にも特に制約はなく、出来る限り入居者の好みを叶えるように努力しています。入居者の趣味ややりたいことも尊重し、好きな演歌歌手の公演を観にいきたいという希望も実現されています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家横浜宮沢2
ユニット名	1F

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は、スタッフ全員で話し合っ決めてたものであり、管理者は常に理念を念頭におき、日々のサービスを提供する上で必要な基本的な考え方を採用時、各種会議等にて職員に周知徹底を図っております。	「家族のような温もりと入居者、家族スタッフとがひとつの輪になり・・・」との施設理念がホーム長の穏やかで温かな人柄に裏打ちされ運営に活かされています。開所以来3年半、退職者ゼロという数字がこれを物語っています。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会への加入、地域行事への参加、ホーム前の宮沢遊水地公園利用者へのトイレの解放して、沢山の方々に利用して頂いております。また、毎月第二日曜日に実施している、宮沢遊水地公園の清掃にも参加しております。	目の前に広大な公園がありますが、トイレ設備がないため、ホームのトイレを公園利用者に開放して喜ばれています。地域との関わりを最重点課題とし、町内会の清掃、防災訓練に参加して、保守的な土地柄に溶け込む努力をしています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議において、当ホームが地域に役に立てることは何か、それを実践して行くにはどのような方法があるか提案しております。希望者には、例えば、認知症について、感染症予防、高齢者特有の病気、排泄介助などの情報提供を申し出をしております。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は年4回開催しており、会議の席にてホームのサービスの状況などを報告して助言を頂いております。助言内容をホームに持ち帰り、スタッフ会議にて検討し、実施出来るものは実施しております。	地区の3ホーム合同の推進会議を年4回開き、町内会長、民生委員は毎回出席しています。「地域に役立てるものは何か」をテーマに、まず情報提供から始め、認知症、感染症、排泄介助と広げています。外部評価のコピーも会議時に配布しています。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市区町村などで実施する各種研修に参加しております。横浜市グループホーム連絡協議会にも加入して情報提供を頂いております。また、生活保護ケースについては、担当ケースワーカーと連絡、報告を密にしております。	生保受給者がおりケースワーカーとの連携、地域包括センターとの相談、グループホーム連絡協議会での情報収集など多方面にわたっています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当社が実施している安全対策委員会の身体拘束廃止チームに委員を参加させており、また、ホームでも身体拘束廃止委員会を設置して毎月1回開催して身体拘束のない介護について話し合っております。	「身体拘束をしない」との方針と共通標語「コンプライアンスの徹底」が職員に浸透しています。廃止委員会設置、各種研修会の参加で意識の共有を図り、当ホーム長作成の「職員のご利用者様に対する禁句例」は他の施設でも採用されています。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	市区町村からの指導文書、社内研修また、瀬谷区虐待防止研修にも参加してその内容を各種会議にて職員に配布、説明して全職員が共通認識を持って介護にあたるよう指導しております。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日頃より、ご利用者様、ご家族様と連携をとって対応しております。地域福祉権利擁護、成年後見制度については、毎年、本社での研修があり参加しております。研修内容は各種会議にて報告してフィードバックしております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約書の説明を、読み合わせしながらお互いに確認している。その都度、疑問質問を受けてご理解を頂いております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は出来るかぎりご利用者様、ご家族様とコミュニケーションを図り、そこで得たご意見を尊重して処遇に努めております。また、玄関先に苦情相談窓口を掲示している。ご意見箱も設置しております。	投書はありません。家族から「外出をさせたい」と希望があれば直ぐ実行される柔軟さがあります。意見箱は施設では開けることが出来ず、本部へ送られます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者のご意見箱を設置してホーム運営に反映させている。管理者は職員との個人面談やスタッフ会議などで意見を聞いております。	開所以来3年半、職員の退職者はありません。職員の意見、不満を吸い上げ、納得が出来る様話しています。個人面談、スタッフ会議が有効に機能している結果です。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の勤務状態、業務に対する姿勢など自己啓発として年2回人事考課を自己評価、上司評価を実施して昇格、昇給に反映させている。職員の意見や提案を直接運営者に届く意見箱を設置している。また、運営者のメールアドレスを職員に公開している。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社内のスキルアップ研修、ホーム長、ケアマネ、フロアー長などの職階別研修、マナー研修などを実施している。無資格者には当社のヘルパー2級取得研修も実施して取得して頂いている。新入職員には管理者が介護従事者としての心構えを個別指導している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	瀬谷区、旭区グループホーム連絡会に加入して情報提供頂いております。当ホーム周辺には4ヶ所のグループホームがあり交流している。また、神奈川県内には25ヶ所のみんなの家のホームがあり、月に1度集まって情報交換している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用に繋がらなくても、ご利用者様、ご家族様などの相談を受け入れ、ホーム見学して頂いて自分たちが出来る範囲内での助言をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりを努めている	ご利用者様、ご家族様からの相談、要望などをきちんと傾聴している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様、ご家族様の状況を客観的に把握して、ご利用者様、ご家族様にとって最善の生活が送れるように努めております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員に指導していることは、介護しているのではなく、ご利用者様と一緒に生活をし、生活を共に楽しんでいくという考えを指導しております。ご利用者様は長い人生経験から調理、季節行事などご利用者様から学びながら生活を共有しております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者様、ご家族様からの要望、訴えなどに耳を傾け一緒になってご利用者様を支えております。面会時、電話、宮沢2たよりなどにて近況報告をしている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様が馴染みの方々と従来どおりの関係が維持できるよう手紙、電話など連絡がつけれるよう支援している。	馴染みの関係が途切れないように、家族との電話を取り次いだり、機関誌を家族へ送付しています。入居者の友人や近隣住民がホームを訪ねてくることもあります。近くのスーパーへ出かけ、食品等の買い物を楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者9名が一つの家族という認識のもと、声かけを密にして孤独感、不安感を抱かないよう支援しております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者様、ご家族様の意向に沿って実施しています。居宅支援事業所の紹介、ケアマネへの情報提供、介護サービスの情報提供などをしております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者、ご家族様との面談により要望などを聞いたり、日頃の言動や訴えなどをカンファレンスしてケアに活かしております。	入居者のしぐさ、表情から気持ちを読み取るようにしています。職員の異動もなく、入居者とは家族のような関係が築けるように努めています。居室の担当者も決まっているので入居者との意思疎通がスムーズに行なわれています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のご自宅への訪問面談にて、ご本人の生活歴、趣味活動、日常の生活パターンなどを聞き、入居後の生活に反映させている。私物についても、馴染みの品をなるべく持参して頂くようお願いしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居直後については、声かけを密にしてご利用者様の日常の行動パターンの把握に努めています。状態に変化があった時には記録や申し送りをしてスタッフ間の認識を統一して処遇にあたっております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>申し送りや連絡ノートを活用し、必要に応じてご家族様と連絡を取り合い、要望を聞き、ケアカンファレンス会議にて検討してケア計画に活かしております。</p>	<p>入居時には今までの生活パターン、生活歴等を参考にし、まずは暫定のプランを作成しています。その後本人や家族等の意見、要望を聞きながら、スタッフの会議で検討して介護計画を作成しています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活記録、連絡ノート、申し送り、ケアカンファレンスにてスタッフと意見交換して情報の共有に努め、ケアプランの実践、見直しを図っております。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>医師による訪問診療、訪問歯科、薬剤師による薬剤指導、医療連携体制加算による訪問看護、訪問マッサージなど各種サービスにてご利用者様健康管理に努めております。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議にて地域の代表、民生委員、地域包括支援センター職員へホームの活動内容を説明してご理解を頂いております。また、警察署、消防署へホーム概要、人員、介護度別、車椅子使用者数などの情報提供している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関以外に、ご利用者様、ご家族様の希望によっては他の医療機関を受診している方もおります。</p>	<p>月に2回、ホーム協力医の往診がありますが、以前からのかかりつけ医に通院している入居者も数名います。また訪問歯科、訪問マッサージ等の医療支援も行なわれています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月2回の訪問診療にて医師、看護師、月2回の訪問歯科による医師、月4回の歯科衛生士により健康管理をしている。医療連携体制加算による訪問看護の定期訪問による疾病の早期発見など健康管理に留意しております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の医師、ソーシャルワーカーと連絡を密にして現況や退院後の健康管理の相談をしております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した時の指針を入居時に配布、説明している。ホームでの医療行為についても実施可能、不可能の説明をして、ご理解を頂いております。	現在は比較的元気な入居者が多い状況ですが、将来的に希望する入居者があった場合、医師との連携が取ればターミナルケアは可能と考えています。入居時にはその指針を示し、家族等に説明しています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応方法を表示している。救急対応マニュアルを作成している。個々の職員は消防署主催の救急・救命講習に参加している。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力的体制を築いている	年2回、消火、避難、通報訓練を実施している。また、地域の避難場所を確認したり、緊急時の職員の連絡網を作成している。運営推進会議にて災害時の協力をお願いしていると同時に、地域の防災訓練に参加している。	消防署の協力を得た消防訓練が実施されています。エレベーターを使わない状態での避難訓練も実施されていますが、今後、夜間想定避難訓練の実施を検討しています。近隣との良好な関係も保たれ、災害時の協力を依頼しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーやその人の人格、人権の尊重を十分図るよう各種会議にて指導している。言葉遣いについても禁句例集を作成して、周知徹底を図っております。	入居者の人格を尊重し、言葉かけや対応には細心の注意を払っています。ホーム長の作成した「禁句例集」もあり、尊厳を損ねるような言葉使いを禁止し、周知しています。利用者の訴えには常に耳を傾け、受容しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけご本人に合った声かけや、話し方をして相手の気持ちを自然に引き出すよう心がけている。また、ご本人の表情や言動に留意して自己決定を尊重したケアに努めています。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人個人のペース、動きを尊重した生活の確保に努めております。家庭の延長を基本にして、ホームのスケジュールに無理に合わせないよう配慮しています。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容、訪問シニアセラピーの受け入れをしている。ご本人、ご家族様が希望すれば他の理美容も利用可能とっている。愛着のあるアクセサリを持参している方も多い。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様と一緒に会話しながら食事をし、楽しく食事が出来るよう配慮している。無理のない程度に食後の片付けや食器洗い、拭きをお手伝いして頂いております。イベントメニューや嗜好を聞きながら外食を実施している。	入居者と職員と一緒に談笑しながら食事を取っています。食材は給食業者から調達し、職員が調理しています。希望を聞き、お刺身やラーメンも提供されています。芋煮会、お誕生会等の行事食、また外食にも出かけ、食事に変化をつけています。	体調の安定した入居者が多く、味付けのしっかりしたものを好まれるようですが、塩分調節の配慮の工夫も期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューについては、栄養士が栄養のバランスを考慮して作成しております。食事の量については、三食とも記録して摂取量の変化に留意しております。水分については摂取量が少ない時には声かけして摂取して頂いております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き、入れ歯清掃、うがいなどを実施している。週1回の訪問歯科にて歯のトラブル、口腔ケアに対応しております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握して、声かけ誘導して極力トイレでの排泄に努めております。	入居者一人ひとりの排泄のパターンを記録によって把握しており、上手にトイレ誘導しています。オムツ着用だった方も、リハビリパンツを着用しながら、トイレでの排泄の自立へと成功させた事例もあります。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	トイレでの排泄を基本に置いて、援助方法をケアカンファレンスなどで検討している。水分を多めに摂取したり、運動(体操、レク、散歩など)したりしている。また、慢性的な方には医師に相談して対応している。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	気持ち良く入浴できるよう声かけのタイミングや雰囲気づくりをしている。入浴時間にもなるべくご本人の希望に沿うようにしてい。	希望があれば毎日の入浴も可能です。お風呂嫌いな入居者もいますが、決まった職員が誘導するなど工夫しています。浴室は各フロアにあります。1階の浴室にはリフトがあり、脱衣場には防寒用のパネルヒーターが設置されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	冷暖房の温度や冬場の乾燥したときには湿度調整し、その日の状況に応じてゆっくり休めるよう支援している。日中のお昼ねの長さなどを考慮して一日を通してバランスのとれた睡眠の確保に努めている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬の内容は個々にファイルしている。間違いのないよう薬袋に氏名、日付を記入している。薬の種類や用量が変わったときには申し送りをして職員が共通認識を持って対応しております。また、服用している薬の内容については定期的にご家族へ報告しています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居前にご自宅を訪問して、ご本人、ご家族様から生活歴、趣味活動を聞いて、ホームでもそれが継続して出来るよう支援している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調、天候に応じてですが、当ホーム前の宮沢遊水地公園周辺を毎日のように散歩しております。その他職員と一緒に買い物にも出かけております。	入居者の体調に合わせ、散歩やスーパーへの買い物等、希望に沿った支援をしています。ホームの目の前は広大な公園であり、入居者は居ながらにして自然に触れ合うことが出来ます。	ホーム所有の車を持っていないため、入居者の外出や日常業務に不便があるようでしたら検討が期待されます。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理はご家族様了解のもとで、事務所で管理しておりますが、数名の方は自己管理しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	申し出があれば、電話をかけたり、お手紙を書いて頂く支援をしております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各種行事の写真や季節の掲示物などを飾り、生活感や季節感演出している。日差しなどについては、レースや遮光カーテンにて調整しております。	壁には入居者の描いた絵やイベントの写真が掲示されています。リビングにはソファが置かれ、眼前の遊水地公園を眺めることが出来、居心地のいいスペースとなっています。室内の明るさの調節、省エネのためにLED照明を取り入れています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外の景色の見えるところに、ソファを置いてのんびり、ゆったり過ごせるような環境づくりに努めている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご本人が使い慣れたもの、馴染みのもの、愛着のある品などを持ち込んで頂いて、入居前の自室の雰囲気づくりをお願いしています。	室内にはベッド、クローゼット、洗面台が設備されていますが、以前使用していた家具や好みの装飾品等が置かれています。仏壇を持ち込んでいる方もおり、自宅を再現しています。CDデッキで好きな歌手の歌を楽しんでいる入居者もいます。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援に努め、迷っているときにはさりげなく声かけしている。トイレ、浴室、部屋名を付けたり、居室には名札をつけております。		

事業所名	グループホームみんなの家横浜宮沢2
ユニット名	2F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は、スタッフ全員で話し合っ決めてたものであり、管理者は常に理念を念頭におき、日々のサービスを提供する上で必要な基本的な考え方を採用時、各種会議等にて職員に周知徹底を図っております。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会への加入、地域行事への参加、ホーム前の宮沢遊水地公園利用者へのトイレの解放して、沢山の方々に利用して頂いております。また、毎月第二日曜日に実施している、宮沢遊水地公園の清掃にも参加しております。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議において、当ホームが地域に役に立てることは何か、それを実践して行くにはどのような方法があるか提案しております。希望者には、例えば、認知症について、感染症予防、高齢者特有の病気、排泄介助などの情報提供を申し出をしております。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は年4回開催しており、会議の席にてホームのサービスの状況などを報告して助言を頂いております。助言内容をホームに持ち帰り、スタッフ会議にて検討し、実施出来るものは実施しております。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市区町村などで実施する各種研修に参加しております。横浜市グループホーム連絡協議会にも加入して情報提供を頂いております。また、生活保護ケースについては、担当ケースワーカーと連絡、報告を密にしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当社が実施している安全対策委員会の身体拘束廃止チームに委員を参加させており、また、ホームでも身体拘束廃止委員会を設置して毎月1回開催して身体拘束のない介護について話し合っております。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市区町村からの指導文書、社内研修また、瀬谷区虐待防止研修にも参加してその内容を各種会議にて職員に配布、説明して全職員が共通認識を持って介護にあたるよう指導しております。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日頃より、ご利用者様、ご家族様と連携をとって対応しております。地域福祉権利擁護、成年後見制度については、毎年、本社での研修があり参加しております。研修内容は各種会議にて報告してフィードバックしております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約書の説明を、読み合わせしながらお互いに確認している。その都度、疑問質問を受けてご理解を頂いております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は出来るかぎりご利用者様、ご家族様とコミュニケーションを図り、そこで得たご意見を尊重して処遇に努めております。また、玄関先に苦情相談窓口を掲示している。ご意見箱も設置しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営者のご意見箱を設置してホーム運営に反映させている。管理者は職員との個人面談やスタッフ会議などで意見を聞いております。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の勤務状態、業務に対する姿勢など自己啓発として年2回人事考課を自己評価、上司評価を実施して昇格、昇給に反映させている。職員の意見や提案を直接運営者に届く意見箱を設置している。また、運営者のメールアドレスを職員に公開している。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社内のスキルアップ研修、ホーム長、ケアマネ、フロアー長などの職階別研修、マナー研修などを実施している。無資格者には当社のヘルパー2級取得研修も実施して取得して頂いている。新入職員には管理者が介護従事者としての心構えを個別指導している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	瀬谷区、旭区グループホーム連絡会に加入して情報提供頂いております。当ホーム周辺には4ヶ所のグループホームがあり交流している。また、神奈川県内には25ヶ所のみんなの家のホームがあり、月に1度集まって情報交換している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご利用に繋がらなくても、ご利用者様、ご家族様などの相談を受け入れ、ホーム見学して頂いて自分たちが出来る範囲内での助言をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりを努めている	ご利用者様、ご家族様からの相談、要望などをきちんと傾聴している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご利用者様、ご家族様の状況を客観的に把握して、ご利用者様、ご家族様にとって最善の生活が送れるように努めております。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員に指導していることは、介護しているのではなく、ご利用者様と一緒に生活をし、生活を共に楽しんでいくという考えを指導しております。ご利用者様は長い人生経験から調理、季節行事などご利用者様から学びながら生活を共有しております。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者様、ご家族様からの要望、訴えなどに耳を傾け一緒になってご利用者様を支えております。面会時、電話、宮沢2たよりなどにて近況報告をしている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様が馴染みの方々と従来どおりの関係が維持できるよう手紙、電話など連絡がつけられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者9名が一つの家族という認識のもと、声かけを密にして孤独感、不安感を抱かないよう支援しております。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用者様、ご家族様の意向に沿って実施しています。居宅支援事業所の紹介、ケアマネへの情報提供、介護サービスの情報提供などしております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者、ご家族様との面談により要望などを聞いたり、日頃の言動や訴えなどをカンファレンスしてケアに活かしております。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のご自宅への訪問面談にて、ご本人の生活歴、趣味活動、日常の生活パターンなどを聞き、入居後の生活に反映させている。私物についても、馴染みの品をなるべく持参して頂くようお願いしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居直後については、声かけを密にしてご利用者様の日常の行動パターンの把握に努めています。状態に変化があった時には記録や申し送りをしてスタッフ間の認識を統一して処遇にあたっております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>申し送りや連絡ノートを活用し、必要に応じてご家族様と連絡を取り合い、要望を聞き、ケアカンファレンス会議にて検討してケア計画に活かしております。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活記録、連絡ノート、申し送り、ケアカンファレンスにてスタッフと意見交換して情報の共有に努め、ケアプランの実践、見直しを図っております。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>医師による訪問診療、訪問歯科、薬剤師による薬剤指導、医療連携体制加算による訪問看護、訪問マッサージなど各種サービスにてご利用者様健康管理に努めております。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議にて地域の代表、民生委員、地域包括支援センター職員へホームの活動内容を説明してご理解を頂いております。また、警察署、消防署へホーム概要、人員、介護度別、車椅子使用者数などの情報提供している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関以外に、ご利用者様、ご家族様の希望によっては他の医療機関を受診している方もおります。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月2回の訪問診療にて医師、看護師、月2回の訪問歯科による医師、月4回の歯科衛生士により健康管理をしている。医療連携体制加算による訪問看護の定期訪問による疾病の早期発見など健康管理に留意しております。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院の医師、ソーシャルワーカーと連絡を密にして現況や退院後の健康管理の相談をしております。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した時の指針を入居時に配布、説明している。ホームでの医療行為についても実施可能、不可能の説明をして、ご理解を頂いております。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応方法を表示している。救急対応マニュアルを作成している。個々の職員は消防署主催の救急・救命講習に参加している。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消火、避難、通報訓練を実施している。また、地域の避難場所を確認したり、緊急時の職員の連絡網を作成している。運営推進会議にて災害時の協力をお願いしていると同時に、地域の防災訓練に参加している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーやその人の人格、人権の尊重を十分図るよう各種会議にて指導している。言葉遣いについても禁句例集を作成して、周知徹底を図っております。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来るだけご本人に合った声かけや、話し方をして相手の気持ちを自然に引き出すよう心がけている。また、ご本人の表情や言動に留意して自己決定を尊重したケアに努めています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人個人のペース、動きを尊重した生活の確保に努めております。家庭の延長を基本にして、ホームのスケジュールに無理に合わせないよう配慮しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理美容、訪問シニアセラピーの受け入れをしている。ご本人、ご家族様が希望すれば他の理美容も利用可能とっている。愛着のあるアクセサリを持参している方も多い。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様と一緒に会話しながら食事をし、楽しく食事が出来るよう配慮している。無理のない程度に食後の片付けや食器洗い、拭きをお手伝いして頂いております。イベントメニューや嗜好を聞きながら外食を実施している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>メニューについては、栄養士が栄養のバランスを考慮して作成しております。食事の量については、三食とも記録して摂取量の変化に留意しております。水分については摂取量が少ない時には声かけして摂取して頂いております。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後の歯磨き、入れ歯清掃、うがいなどを実施している。週1回の訪問歯科にて歯のトラブル、口腔ケアに対応しております。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>個々の排泄パターンを把握して、声かけ誘導して極力トイレでの排泄に努めております。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>トイレでの排泄を基本に置いて、援助方法をケアカンファレンスなどで検討している。水分を多めに摂取したり、運動(体操、レク、散歩など)したりしている。また、慢性的な方には医師に相談して対応している。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>気持ち良く入浴できるよう声かけのタイミングや雰囲気づくりをしている。入浴時間にもなるべくご本人の希望に沿うようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	冷暖房の温度や冬場の乾燥したときには湿度調整し、その日の状況に応じてゆっくり休めるよう支援している。日中のお昼ねの長さなどを考慮して一日を通してバランスのとれた睡眠の確保に努めている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬の内容は個々にファイルしている。間違いのないよう薬袋に氏名、日付を記入している。薬の種類や用量が変わったときには申し送りをして職員が共通認識を持って対応しております。また、服用している薬の内容については定期的にご家族へ報告し		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居前にご自宅を訪問して、ご本人、ご家族様から生活歴、趣味活動を聞いて、ホームでもそれが継続して出来るよう支援している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	体調、天候に応じてですが、当ホーム前の宮沢遊水地公園周辺を毎日のように散歩しております。その他職員と一緒に買い物にも出かけております。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理はご家族様了解のもとで、事務所で管理しておりますが、数名の方は自己管理しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	申し出があれば、電話をかけたり、お手紙を書いて頂く支援をしております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各種行事の写真や季節の掲示物などを飾り、生活感や季節感演出している。日差しなどについては、レースや遮光カーテンにて調整しておのま。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外の景色の見えるところに、ソファを置いてのんびり、ゆったり過ごせるような環境づくりに努めている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にご本人が使い慣れたもの、馴染みのもの、愛着のある品などを持ち込んで頂いて、入居前の自室の雰囲気づくりをお願いしています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立支援に努め、迷っているときにはさりげなく声かけしている。トイレ、浴室、部屋名を付けたり、居室には名札をつけております。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	ご利用様が、しっかりと味の付いた副食を好む傾向にある。	一日に摂取する塩分量の適減に努める。	調味料の工夫により、塩分摂取量を減らします。	6ヶ月
2	2	更なる地域との連携強化。	地域活動へ積極的に参加する。	地域行事、地域の防災訓練への参加、当ホームでの夜間想定訓練への地域住民の参加をお願いして実施する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。